

1. 科目名 (単位数)	心理支援総論特論 (2単位)		
2. 授業担当教員	鶴 光代、岡本 香、加藤 宏一、平久江 薫、新井 雅人、大島 朗生、河合 雅代、齋藤 瞳、佐藤 篤司、武内 智弥、中野 真也、野口 理英子、後藤 進吾、若松直樹	3. 科目番号	PSMP6270
4. 授業形態	講義・演習	5. 開講学期	通年
6. 履修条件・他科目との関係	特になし	履修形態 (通信教育)	
7. 講義概要	本講義は、公認心理師の心理支援として求められる知識や技能、役割について講義する。また、公認心理師試験のブループリントを参照し、心理職として押さえておくべき事柄を、演習形式で議論を交えながら体験的に習得するように進めていく。公認心理師の心理支援についての知識を実践へとつなげるための理解を深め、身に着け、説明できるようになることを促す内容である。		
8. 学習目標	公認心理師などの心理職として求められる知識や技能、役割を習得すること。心理職に求められる多職種との連携、遵守すべき倫理等も含め、専門家として現場で働くための心構えや態度を身に着けること。		
9. アサシメント (宿題) 及びレポート課題	講義で扱われる内容について、各回のキーワードについて予習し、受講後は、ポイントをまとめ復習すること。		
10. 教科書・参考書・教材	【参考書】 子安増生 (2019)『公認心理師のための基礎心理学』 金芳堂		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 各テーマにおけるポイントの理解と、その取り組み ○評定の方法 授業態度 (課題への取り組み、積極性など) : 50%、各回の確認テスト : 50%		
12. 受講生へのメッセージ	公認心理師の心理支援として求められる知識や技能、役割について扱います。現時点で理解できていることを確認するとともに、理解が不十分な点を押さえてください。単なる表面的な知識に留めず、関連する事項も含め、身になり活かせる知識となるように、積極的に質問するなど講義に参加してください。		
13. オフィスアワー	各担当教員から、担当初回時に通知する。		
14. 学習の展開及び内容【テーマ、学習の目標、学習の内容、キーワード、学習の課題、学習する上でのポイント等】			
1. テーマ	オリエンテーションと本講義の進め方について		
【学習の目標】	本講義の進め方を理解し、課題への取り組みの準備や積極的に学ぶ姿勢を作ること。		
【キーワード】	公認心理師資格、心理職に求められること、社会的な要請、現代的なニーズ、心理職による心理的支援		
2. テーマ	公認心理師としての職責		
【学習の目標】	公認心理師の職責について、その概要とポイントを理解すること。		
【キーワード】	公認心理師の役割、法的義務及び倫理、情報の取り扱いなど		
3. テーマ	問題解決能力と生涯学習		
【学習の目標】	心理職の成長モデルやスーパーヴィジョンについて理解し、心理職として働く上で求められる研鑽や留意点について学ぶこと。		
【キーワード】	成長モデル、継続訓練、スーパーヴィジョン		
4. テーマ	多職種連携・地域連携		
【学習の目標】	保健医療、福祉、介護、教育などの分野における連携、支援に関わる専門職と組織、家族との連携などについて、概要とそのポイントを理解し、説明できるようにすること。		
【キーワード】	チーム医療、コンサルテーション、リファーなど		
5. テーマ	心理学・臨床心理学の全体像		
【学習の目標】	心理学および臨床心理学の誕生と発展、その全体像について、主要人物とその働きを含めて学ぶこと。歴史的な流れとポイントを押さえ、説明できるようにすること。		
【キーワード】	要素主義、ゲシュタルト心理学、精神分析学、行動主義、認知神経科学、人間学的アプローチ、社会構成主義、生物心理社会モデルなど		
6. テーマ	心理学における研究		
【学習の目標】	心理学における実証的研究法と統計的手法について理解を深めること。心理統計に関する基礎知識を理解し、説明できるようにすること。		
【キーワード】	研究倫理、研究方法 (実験法、調査法、観察法、検査法、面接法)、数量的研究・質的研究、分散分析、因子分析、統計的仮説検定など		
7. テーマ	心理学に関する実験		
【学習の目標】	心理学における実験計画の立案、実験データの収集とデータ処理、結果の解釈などを理解し、説明できるようにすること。		
【キーワード】	実験群、対照群 (統制群)、無作為割付対象試験 (RCT)、二重盲検法など		
8. テーマ	知覚および認知		
【学習の目標】	人の感覚・知覚の機序およびその障害、人の認知・思考の機序およびその障害について、概要とポイントを理解し、		

	説明できるようにすること。 【キーワード】 精神物理学、五感と知覚、ワーキングメモリ、短期・長期記憶、記憶障害など
9. テーマ	学習および言語
【学習の目標】	学習理論と人の行動が変化する過程、言語の習得における機序、言語障害について、その概要とポイントを理解し、説明できるようにすること。
【キーワード】	古典的条件付け、オペラント条件付け、観察学習、言語学（意味論、統語論、語用論）、言語の習得プロセス、失語症（ウェルニッケ失語、ブローカ失語）、ディスレシア
10. テーマ	感情および人格
【学習の目標】	感情に関する理論と感情喚起の機序、感情が行動に及ぼす影響、人格の概念および形成過程、人格の類型と特性について理解し、説明できるようにすること。
【キーワード】	感情に関する神経科学、基本的感情、感情と表出・認知、心身の健康、人格・性格・気質、類型論、特性論、5因子モデル、パーソナリティ障害
11. テーマ	脳・神経のはたらき
【学習の目標】	脳神経系の構造と機能、記憶・感情等の生理学的反応の機序、高次脳機能の障害と必要な支援について理解し、説明できること。
【キーワード】	中枢神経、末梢神経、脳の機能局在、自律神経、神経伝達物質、体温、脳波、記憶障害、高次脳機能障害の原因・リハビリテーション
12. テーマ	社会および集団に関する心理
【学習の目標】	対人関係並びに集団における人の意識および行動についての心の過程、人の態度および行動、家族・集団および文化が個人に及ぼす影響について理解し、説明できること。
【キーワード】	社会的スキル、対人ストレス、社会的ジレンマ、ソーシャルネットワーク、対人行動、夫婦・家族関係、家庭内暴力、家族システム論、家族療法
13. テーマ	発達
【学習の目標】	認知機能の発達および感情・社会性の発達、自己と他者の関係のあり方と心理的発達、障害における発達と各発達段階での特徴、非定型発達、高齢者の心理社会的課題と必要な支援について理解し、説明できるようにすること。
【キーワード】	ピアジェの発達理論、心の理論、アタッチメント、アイデンティティ、ライフサイクル論、神経発達症群／神経発達障害群、自閉スペクトラム症、注意欠如多動症、限定性学習症、加齢のメカニズム、日常生活動作、介護、ウェルビーイング
14. テーマ	障害者（児）の心理
【学習の目標】	身体障害、知的障害および精神障害、障害者（児）の心理社会的課題と必要な支援について理解し、説明できること。
【キーワード】	国際障害分類（ICIDH）、国際生活機能分類（ICF）、合理的配慮、療育、特別支援教育
15. テーマ	心理状態の観察および結果の分析
【学習の目標】	心理アセスメントに有用な情報とその把握の手法等、関与しながらの観察、心理検査の種類・成り立ち・特徴・意義および限界、心理検査の適応、実施および結果の解釈について理解し、説明できること。
【キーワード】	テストバッテリー、インフォームドコンセント、機能分析、質問紙法、投影法、作業検査法、知能検査
16. テーマ	心理に関する支援
【学習の目標】	代表的な心理療法並びにカウンセリングの歴史、概念、意義および適応、訪問による支援や地域支援の意義、要支援者の特性や状況に応じた支援方法の選択・調整、良好な人間関係構築のためのコミュニケーション心理療法およびカウンセリングの適用の限界、要支援者等のプライバシーへの配慮について理解し、説明できること。
【キーワード】	精神行動論、認知行動理論、人間性アプローチ、アウトリーチ、コミュニティ・アプローチ、援助要請、エンパワメント、ストレングス効果研究、個人情報保護
17. テーマ	健康・医療に関する心理学
【学習の目標】	ストレスと心身の疾病との関係、医療現場における心理社会的課題と必要な支援、保健活動における心理的支援、災害時等の心理的支援について理解し、説明できること。
【キーワード】	ストレス反応、心身症、予防、遺伝性疾患、リエゾン精神医学、発達相談、依存症、ひきこもり、サイコロジカル・ファーストエイド（PFA）
18. テーマ	福祉に関する心理学
【学習の目標】	福祉現場において生じる問題とその背景、福祉現場における心理社会的課題と必要な支援方法、虐待、認知症に関する必要な支援について理解し、説明できること。
【キーワード】	社会的養護、児童虐待、高齢者虐待、心的外傷後ストレス障害、子育て支援、障害受容、リスクアセスメント、改定版長谷川式簡易知能評価スケール（HDS-R）
19. テーマ	教育に関する心理学
【学習の目標】	教育現場において生じる問題とその背景、教育現場における心理社会的課題と必要な支援について理解し、説明できること。
【キーワード】	自己効力感、不登校、学習性無力感、いじめ、非行、スクールカウンセリング、チーム学校、学生相談
20. テーマ	司法・犯罪に関する心理学
【学習の目標】	犯罪、非行、犯罪被害および家事事件に関する基本的事項、司法・犯罪分野における問題に対して必要な心理的支援について理解し、説明できること。
【キーワード】	少年非行、裁判員裁判、医療観察制度、犯罪被害者支援、面会交流、矯正処遇、保護観察、反抗挑戦性障害、反社会性パーソナリティ障害

21. テーマ	産業・組織に関する心理学
【学習の目標】	職場における問題に対して必要な心理的支援、組織における人の行動について理解し、説明できること。
【キーワード】	過労死、ハラスメント、労働災害、リワーク、キャリアコンサルティング、ストレスチェック制度、ダイバーシティ、リーダーシップ
22. テーマ	人体の構造と機能および疾病
【学習の目標】	心身機能、身体構造およびさまざまな疾病と障害、心理的支援が必要な主な疾病について理解し、説明できること。
【キーワード】	がん、脳血管疾患、循環器疾患、内分泌疾患、再生医療、サイコオンコロジー（精神腫瘍学）
23. テーマ	精神疾患とその治療
【学習の目標】	代表的な精神疾患の成因、症状、診断法、治療法、経過、本人や家族への支援、向精神薬をはじめとする薬剤による心身の変化、医療機関への紹介について理解し、説明できること。
【キーワード】	精神疾患の分類、診断基準、DSM、ICD、精神科薬物療法、アドヒアランス、向精神薬
24. テーマ	公認心理師に関する制度
【学習の目標】	保健医療分野に関する法律・制度、福祉分野に関する法律・制度、教育分野に関する法律・制度、司法・犯罪分野に関する法律・制度、産業・労働分野に関する法律・制度について理解し、説明できること。
【キーワード】	医療法、精神保健福祉法、健康増進法、介護保険制度、児童虐待防止法、障害者総合支援法、発達障害者支援法、DV防止法、いじめ防止対策推進法、医療観察法、保護観察制度、家庭裁判所、少年鑑別所、労働基準法、障害者雇用促進法
25. テーマ	こころの健康教育に関する事項等
【学習の目標】	こころの健康教育や健康対策について理解し、説明できること。
【キーワード】	健康日本21、こころの健康対策、自殺の予防、心理教育、メンタルヘルス
26-30. テーマ	事例を通しての総合的な理解を促進する
【学習の目標】	テーマ1～25の学習を踏まえて、具体的な事例を通じて、これまでの自らの理解を確認し、深めること。個々の知識としてではなく、それらのつながりを含めて、活用できるものとする。
【学習する上での留意点】	具体的な事例・課題を通じての総合的な学習になります。これまでの学びを活かしながらも、理解が不十分な点を確認してください。また、今後心理職として実践していく上で、自らを省みてください。